

保護者用 令和7年度 大阪府小学生すくすくウォッチ 堺市結果及び分析

総合的な学力の育成に向けて～自分事にして考える～

堺市教育委員会

教科に関する調査の結果及び分析

【調査について】

実施日 令和7年4月16日（水）～ 4月24日（木）
実施対象 第5学年、第6学年の全児童
調査内容 第5学年：国語、算数、理科、わくわく問題
 第6学年：わくわく問題
 ※わくわく問題とは、教科横断型問題をさす。



各教科の平均正答率（堺市と大阪府）

教科	学年	平均正答率 （堺市） （％）	平均正答率 （大阪府） （％）	問題数	問題形式別正答率						児童数 （人）	
					選択式 （％）		短答式 （％）		記述式 （％）			
					堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府	堺市	大阪府
国語	5年	69.6	69.2	17	66.1	65.9	72.6	72.2	－	－	6,379	63,508
算数		65.4	67.9	6	66.0	68.4	70.1	72.9	60.0	62.5	6,378	63,519
理科		59.4	59.8	12	60.4	61.0	66.0	65.1	46.4	47.9	6,379	63,595
わくわく		66.4	66.5	9	65.4	65.9	－	－	68.4	67.7	6,377	65,023
わくわく	6年	75.1	75.1	9	74.1	74.1	－	－	77.2	77.0	6,297	64,739

成果

- 国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の区分において、文の中における主語と述語の関係を捉えて文の内容を正しく理解する問題に成果が見られた。
- わくわく問題では、5年、6年ともに「理由や根拠を明確にして伝える」の区分において成果が見られた。

課題

- 算数では、「データの活用」の区分において、資料から読み取った内容と棒グラフが示している内容を関連づけ、内容を正しく理解する問題に課題が見られた。
- 理科では、「地球を柱とする領域」の区分において、太陽と日陰や影の位置を調べ、比較する問題に課題が見られた。

「総合的な学力の育成」に関わる堺市の取組

【調査結果の活用】

- ・子どもが自身のつまずきに気づき、自ら学びを進められるよう「ドリルパークで学ぶ力を育てようシート」を提供する。
- ・小学校4年生～中学校2年生においてIRTを活用した堺市学力・学習状況調査を年1回実施し、委員会及び学校が調査結果を活用し、教育実践の改善、児童生徒の学習状況の改善等に取り組む。
- ・調査結果を「分析のしおり」にまとめ、つまずきのポイントや9年間の指導の系統性を示し、学力向上に向けた効果的なカリキュラム改善を支援。

【授業改善の推進】

- ・「学びのコンパス（子どもが自ら学びをすすめる授業づくりの考え方）」に基づく授業づくりを図るため、校内研修を軸に、授業改善を推進。
- ・総合的な学習の時間において、地域や社会とのつながりを大切に教科の視点の充実を図りながら、より探究的な学びを進めるために「堺 STEAMブック」を作成し授業で活用。
- ・ICTを活用した授業実践をSharePointを用いて広く学校に周知し、授業改善を推進。等